

平成 28 年度事業計画書（案）

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

	項 目	内 容
1	事業	<p>1) 日本武道学会第 49 回大会の開催 平成 28 年 9 月 7 日（水）～ 9 月 8 日（木）、皇學館大学を会場として開催する。研究発表の形式は、口頭発表（人文・社会科学系、自然科学系、武道指導法系の 3 分野）とポスター発表とする。</p> <p>2) 日本武道学会第 49 回大会シンポジウム（本部企画）の開催 平成 28 年 9 月 7 日（水）、日本武道学会第 49 回大会シンポジウム（本部企画）として、「メディアと武道：伝統文化としての武道との関連から」を開催する。</p> <p>3) 機関誌の発行 『武道学研究』第 49 巻 1・2・3 号を発行し、電子化する。</p> <p>4) 研究の助成 柔道・剣道・空手道・弓道・なぎなた・相撲・障害者武道の各専門分科会へ研究助成をする。 また、各支部（東京・関西・東海・北信越・中四国・埼玉・山梨）の研究活動を支援する。</p> <p>5) 優秀論文の表彰 優秀論文の選考を行い、表彰する。</p> <p>6) その他の事業 委員長会議 ① 第 49 回大会本部企画の実施内容について検討する。 ② 第 50 回大会本部企画の実施内容について検討する。 ③ 第 50 回大会の実施内容について検討する。 ④ 学会ロゴについて検討する。</p> <p>作業部会の活動 ① 「役員組織の改革・賛助会員制度の活用」部会：会則の再確認、改正について検討を行う。賛助会員を募る。 ② 「若手研究者の育成」部会：学生会員の増員を図るため、学会大会における「若手研究者奨励賞」の設置等を検討する。 ③ 「国際化推進」部会：学会大会および『武道学研究』の国際化、ならびに国際的学术交流の推進について調査・検討する。 ④ 「中学校武道実施への対応」部会：改善策を探る。</p>
2	総会の開催	<p>平成 28 年 9 月 7 日（水）皇學館大学において総会を開催し、以下の案件を審議・決定する。</p> <p>1) 会長および副会長の推挙に関する件 2) 名誉会員の推挙に関する件 3) 平成 27 年度事業報告書並びに平成 27 年度決算書の承認に関する件 4) 平成 28 年度事業計画書並びに平成 28 年度予算書の承認に関する件 5) 日本武道学会第 50 回大会開催に関する件 6) その他</p>
3	理事会・評議員会の開催	<p>平成 28 年 9 月 6 日（火）、理事会及び評議員会を皇學館大学において開催し、総会に諮る案件の承認を得る。 理事会はこの他に通常年 4 回開催するが、今年度は理事の改選に伴う必要事項決定のため、臨時理事会を開催する。また、編集、企画、広報、庶務、会計の事業を分担し、会務の円滑な運営を図る。</p>
4	各委員会の活動	<p>編集委員会：『武道学研究』第 49 巻 1・2・3 号を編集・発行する。「普通号投稿規定」その他について検討し、必要に応じて改定する。審査結果に対する「異議申し立て」の制度化について検討する。</p> <p>企画委員会：日本武道学会第 49 回大会における本部企画事業として、シンポジウム「メディアと武道：伝統文化としての武道との関連から」およびポスター発表「中学校武道必修化における課題・対応策」を起案し、委員長会議の意向を受けて実施する。</p> <p>広報委員会：ホームページを管理し、広報活動を円滑に行うとともに刊行物の電子化を図る。加えて、第 2 回国際武道会議（第 50 回記念大会）を視野に入れ、国内外への積極的発信を行う。</p> <p>庶務委員会：事業の円滑な運営を図る。</p> <p>会計委員会：適正な会計事務の執行に努める。</p>